

北上市在宅医療介護連携推進事業
令和4年度事業計画書

令和4年7月

北上市福祉部長寿介護課・北上市在宅医療介護連携推進センター

令和4年度北上市在宅医療介護連携推進協議会事業計画（案）

1. 第Ⅳ期：令和3～令和5年度の位置付け

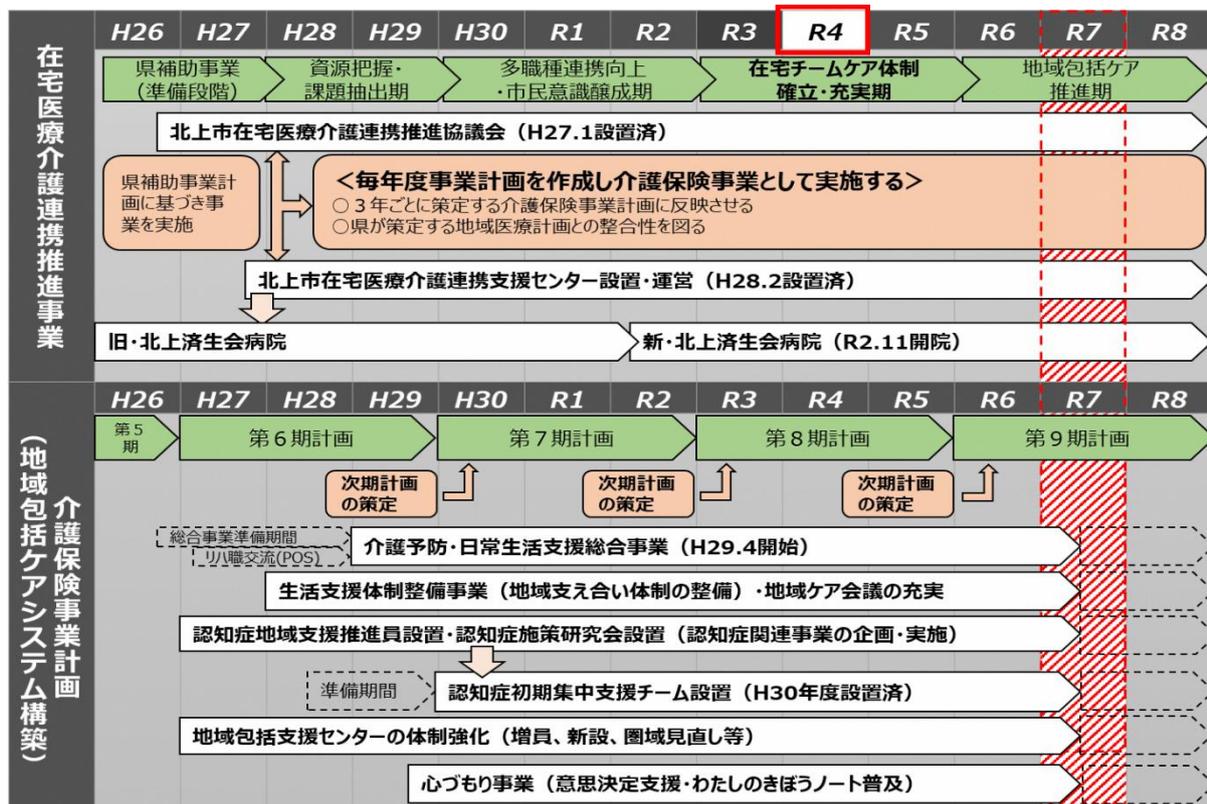
北上市の在宅医療介護連携は、協議会設置から7年経過し、関係者が課題の解決にそれぞれ取り組むのではなく、同じ理念（**介護や医療が必要となっても、世代を超えた地域のつながりの中で安心して暮らすことができ、いつになっても自らの意志で自分らしく生きることができる、長寿を喜び合えるまち**）を共有し、お互いの強みを出し合い、これまで地域資源把握及び課題抽出と、多職種顔の見える関係性とネットワーク形成を進め、多職種連携向上と市民意識の醸成を図ってきました。

現行の「きたかみいきいきプラン」の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果では、市内の高齢者の約55%が「要介護状態になっても住み慣れた自宅で過ごしたい」という希望を持っています。

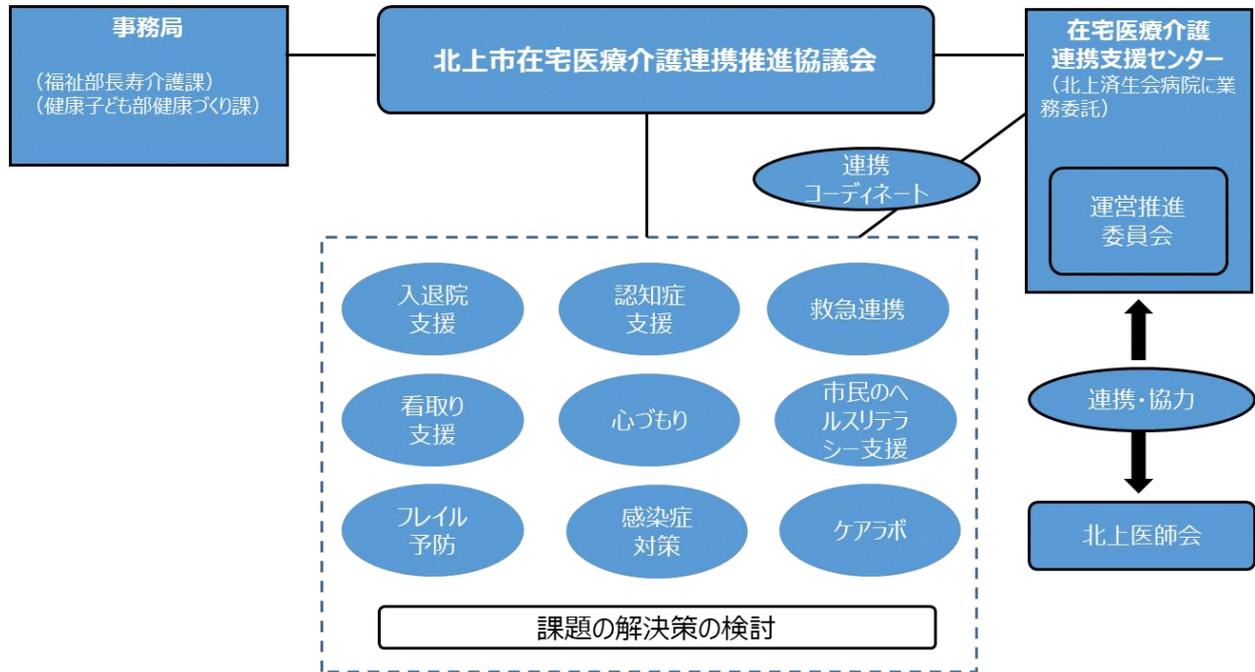
今後、さらなる高齢化に向けて、高齢者自身の希望を実現させるためには、医療と介護の両方を必要とする要介護状態の高齢者でも、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる環境が必要となり、この第4期の在宅チームケア体制の確立・充実に向け、医療と介護の連携拠点である北上市在宅医療介護連携支援センターを中心に、北上市医師会をはじめ医療と介護の多職種共同のケア体制を「退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」の4場面に合わせ、進めていくとともに、市民ニーズに配慮した意識啓発にも取り組んでいきます。

また、現行の「きたかみいきいきプラン」は、令和5年度までの期間となっており、今年度から計画策定に向けての準備が始まります。当協議会の事業においても、次期計画策定と合わせて、2040年を見据えた具体的な目標や取り組み内容の検討を進めていきます。（※資料：これまでの北上市在宅医療介護連携推進事業の第Ⅳ期以降のビジョン参照）

【北上市医療介護連携推進事業ロードマップ】



【北上市在宅医療介護連携推進事業体制図】



2. 重点事業

(1) 認知症施策

| 取組事項 | 内容 |
|--------------|--|
| 初期集中支援チーム | 認知症サポート医、地域包括支援センター、行政が連携をとり医療サービスや介護保険サービスにつながない認知症の疑いのある方を早期発見、早期受診につなげます。 |
| 認知症サポーター養成講座 | 認知症に対する正しい知識と理解を持つ市民を養成し、地域や職域で認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けする人を増やします。 |
| 認知症高齢者の買い物支援 | 認知症になっても自由に買い物ができるよう、市内のスーパーやドラッグストアと意見交換を行い課題を共有します。(10月~12月) |
| オレンジセーフティネット | 認知症でも安心して暮らせるまちづくりを支援するためのシステム(スマートフォンアプリ)を利用し、認知症の横断的な見守りネットワークの構築を進めます。 |

(2) 在宅医療

| | |
|-----------|---|
| 入退院支援作業部会 | 入退院時の医療と介護の連携強化を図り、多職種協働のスキルアップと在宅チームケア体制の構築を目的として、北上市在宅医療介護連携推進協議会に作業部会を設置しているもの。令和元年度に高齢者等の入退院時に活用できる共通の連携ツール「入退院支援ハンドブック」を作成しましたが、今年度は内容を改訂して更なる活用拡大を図ります。 |
|-----------|---|

| | |
|---------------------|---|
| 医療・介護人材育成のためのテーマ型研修 | <p>専門職を対象に4フェーズの視点（日常の療養支援・看取り・急変時の対応・入院退院）に沿った研修を提供し、医療介護連携や多種職協働のスキルアップと在宅チームケア体制の構築を図ります。</p> <p>※内容は、3基本事業③のとおり</p> |
| 第5回きたかみACPセミナー | <p>当事者とその家族等が安心して暮らせることを願い、将来の治療やケアについて、医療・ケアチームとともに話し合いを重ねていくACPのプロセスを理解し、当事者を主体とした関係性を築き上げていくために行う研修</p> <p>7月23日（土）10：00～15：30 会場：北上済生会病院 主催：北上医師会 北上市在宅医療介護連携推進協議会</p> |
| 医療従事者向け権利擁護研修（新規） | <p>認知症高齢者や身寄りがない人の増加により、医療同意、契約行為、権利擁護支援の課題の把握と、成年後見制度について学ぶ。</p> <p>3病院連絡会を対象に9月開催を予定 主催：北上市権利擁護支援センター 北上市在宅医療介護連携推進協議会</p> |
| 看取りの支援 | 『北上市介護施設看取り実態調査報告書』（令和3年3月実施）に基づく課題分析を行い、必要な施策を検討する。 |
| ケアラボ@きたかみ多種職事例検討会 | <p>立場の異なる組織・個人が地域課題に向かって個々に取り組みののではなく、同じ目標を共有し、組織の壁を越えて互いの強みを出し合い、北上地域の課題解決に協働で取組むことを目指します。</p> <p>1回目は8月開催予定。（3カ月に1回程度開催予定） 主催：（仮称）ケアラボ@きたかみ運営推進委員会 運営事務局：北上市在宅医療介護連携支援センターを拠点としたケアラボ運営チーム</p> |
| 岩手県看護協会北上支部出前研修（新規） | <p>介護施設（主に入所系）内における看護職員、介護職員の資質向上と介護現場での課題等を把握することを目的に今年度新たに企画を進めます。出前講座注文窓口は「在宅きたかみ」が担い、看護協会が会員の認定看護師等を派遣するコラボ型で実施します。</p> <p>主催：岩手県看護協会北上支部 北上市在宅医療介護連携支援センター 時期：9月から注文受付開始を予定</p> |
| きたかみ在宅医療介護情報一覧 | <p>医療・介護資源へのアクセス向上を目的とし、2018年度版情報一覧の改訂作業を行います。</p> <p>編集・発行：北上市在宅医療介護連携支援センター 時期：年度内に発行予定</p> |

(3) 意思決定支援

| | |
|---------|---------------|
| 心づもり勉強会 | ノートの改訂と合わせて開催 |
|---------|---------------|

| | |
|---------------------|--|
| 出前講座 | 市の出前講座を通じ、市民にわたしのきぼうノートの内容説明と、実際に書いてみて、自分らしい歳の重ねかたについて考えるきっかけとする。 |
| ノート作成班 | わたしのきぼうノート改訂版の内容検討 完成後、医療介護機関や地域に周知を行う。 |
| 市立図書館を活用した心づもりの普及啓発 | 市立図書館のテーマ展示を活用し、わたしのきぼうノートの普及のほか、協議会の構成員による在宅ケアや認知症、介護予防等の書籍の紹介により、市民が心づもりや在宅ケア等について考えるきっかけとする。 期間 8月 |

3. 基本事業

(1) 多職種が連携しやすい環境整備

①連携資源

『北上市内居宅介護支援事業所等ケアマネジャー一覧表』の発行・配付

②市民啓発・広報

●『私のきぼうノート』の配付

●広報きたかみ『かしく歳をかさねるためのまめ知識』コーナーへの記事掲載

③研修・人材育成

●医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会（目的等は主要事業参照）

| 回 | 開催日 | 場所 | テーマ・講師 |
|---|----------|-------|--|
| 1 | 6月29日（水） | オンライン | 脳血管疾患について理解する 在宅チームケアアプローチについて理解する 講師：北上済生会病院 脳神経外科長 兼副院長 柴内 一夫氏 |
| 2 | 9月中旬 | | 整形疾患について理解する 在宅チームケアアプローチについて理解する 講師：調整中 |
| 3 | 2月中旬 | | 低栄養リスクの予防と、安全で適切な栄養 管理の重要性について理解する 接種嚥下機能に対応した嚥下調整食の提 供基準について理解する 多種職協働による栄養ケアマネジメントにつ いて理解する 講師：調整中 |

●ケアマネジメント研修会

研修内容調整中

●出前研修会

随時（依頼により対応）

④広報

- 「在宅きたかみ」連携支援だよりの発行（四半期ごと）
- 「在宅きたかみ」ホームページの運営（随時更新）
- 関係機関・団体による各種イベントの周知協力、共催・後援の承認等

⑤情報連携ツールの活用

いわて中部ネット活用方法の検討、新たな情報共有ツールの開発検討

⑥広域連携

他市町村からの研修会講師依頼又は視察受入れ等により対応

(2) 連携コーディネート

①医療・介護・福祉の連携に関わる専門の相談窓口

在宅医療介護連携支援センターに医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、社会福祉士を配置して随時対応する。

②職種間コーディネート

- 北上市在宅医療介護連携推進協議会の開催

| 回 | 開催日 | 場所 | 議題 |
|---|--------------|-----------------|---|
| 1 | 令和4年7月13日(水) | 北上 済生会 病院 | ・令和3年度事業報告 ・令和4年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画(案) |
| 2 | 令和4年12月 | | ・令和4年度北上市在宅医療介護連携推進事業経過報告 ・北上市在宅医療介護連携推進事業評価について |
| 3 | 令和5年3月 | | ・令和4年度北上市在宅医療介護連携推進事業経過報告 |

- 北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会の設置・運営

北上医師会や病院関係者を中心とした委員会を開催し、上記推進協議会の協議事項のほか、センターの運営に関して協議する。（年3回程度開催）

- 「岩手県医師会待機支援事業」のコーディネート窓口
- 訪問歯科診療用ユニットの貸与（歯科医師会への貸与）
- 訪問歯科診療パンフレットの配布
必要に応じ、関係機関に配付
- 自立支援型地域ケア会議「くらしいきいきミーティング」
月1回開催予定